

科目名	基礎作業学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科1年	必修・選択	必修	
〔授業の目的・ねらい〕								
作業療法の治療手段である作業活動について学ぶ。作業の分類・種類、作業を治療に用いる際の段階付け、作業が心理面に与える影響など作業活動を治療、介入の手段として有効に用いることを学習する。								
〔授業全体の内容の概要〕								
作業の意味や作業と生活の関係などを考える。治療手段として用いる作業にはどのようなものがあるのかを知る。また、作業工程や作業分析が対象者の作業適用に重要であることを学習する。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
①作業と作業療法の関係及び分類を説明できる。②作業工程と分析について説明できる。③作業活動の簡単な段階づけを説明することができる。								
回数	講義内容							
1	作業の定義と分類について ①							
2	作業の定義と分類について ②							
3	治療手段としての作業 作業							
4	作業を知る 目的・効果							
5	作業を知る（作業工程）							
6	作業を知る（作業分析）							
7	事例を通じた作業の使い方							
8	作業分析							
	定期筆記試験							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
「ひとと作業・作業活動」第3版			三輪書店					
「ひとと集団・場」－集まり・集めることの利用－第2版			三輪書店					
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】								
履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする								